

竜化の滝

竜化の滝は、塩原で最も高い滝で、その高さは 60 メートルである。三段に渡ってジグザグに流れる水は、天をめがけて崖を登っていく竜のように見えると言われている。滝の名前は「竜に化ける滝」という意味であり、滝に遭遇するまで上流へ向かって泳いだ鯉についての有名な日本の言い伝えに関連している。鯉はなんとか滝を登り、「竜門」を通過して竜になったと言われている。

滝を囲む岩層は、緑色凝灰岩と安山岩の 2 種類の火山岩からなる。安山岩層の際立った自然構造は、火山活動によるものである。安山岩マグマが冷えると、その外側の層がより速く冷却され、岩の表面に沿ってせん断力が働き、岩に亀裂が入った。